

研究実施のお知らせ

2023年11月14日 ver.4.0

研究課題名

肝切除患者に対する段階的肝切除術の質と安全性に関する検討

研究の対象となる方

2006年1月1日から2021年9月30日の間に島根大学医学部附属病院で肝・胆道疾患（良性・悪性含む）と診断され、段階的肝切除療法を受けられた方

研究の目的・意義

肝予備能不良な肝・胆道腫瘍に対しても、肝切除術は根治術となりますが、術後肝不全が高率に発症するため、このような症例には手術は適応外となることが多いです。このような疾患の予後を改善する目的で、段階的肝切除療法があります。段階的肝切除療法とは、まず残肝の再生肥大を目的に門脈塞栓術あるいは肝臓分割と門脈結紮・塞栓術を第一段階目に行い、その後、第二段階として腫瘍を含む肝切除を行う方法です。この治療法は手術手技も高難度であり、周術期合併症発生リスクも他の消化器疾患に比べ高い傾向にあります。このため、安全な手術と緻密な患者管理が求められます。肝・胆道腫瘍に対する段階的肝切除療法を合併症なく安全に施行することは、重要な課題です。本研究において、段階的肝切除療法の合併症の原因を解明することで、治療法の安全性や質を客観的に評価し、今後の手術療法の改善に役立てることができると考えています。

研究の方法

電子カルテおよび病院保管資料から血液生化学検査（血算、栄養状態、肝機能、腎機能、腫瘍マーカー）や画像所見（超音波、CT、MRI、内視鏡検査結果）、臨床経過（主訴、現病歴、既往歴、合併症、再発の有無、生死の有無）のデータを抽出し、治療法の安全性や質に影響を与える因子について、統計学的に解析します。収集したデータは、島根大学医学部消化器・総合外科学講座の外部から容易にアクセスできないパソコン内に保管します。研究対象者の識別は研究用の識別番号により行い、その対応表は収集データとは別に、施錠可能な場所で研究責任者が適切に保管します。

研究の期間

2020年9月29日～2025年12月31日

研究組織

この研究は島根大学医学部 消化器・総合外科学講座が行います。

研究責任者（研究で利用する試料・情報の管理責任者）：

島根大学医学部 消化器・総合外科学講座/附属病院 肝胆膵外科
岸 隆

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、退院後半年以内までをお願いいたします。研究期間中、随時解析・結果の公表を行っていくため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部 消化器・総合外科学講座／附属病院 肝胆膵外科 岸 隆

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2232 FAX 0853-20-2229